



平成15年
12月5日号

No.1149

●毎月5・15・25日発行

広報 かもがわ

- 編集発行・鴨川市役所秘書課 広報広聴係
- 電話・0470(93)7827
- FAX・0470(93)7850
- 鴨川市横渚1450
- 郵便番号・296-8601



快適で住みよいまちに『都市計画』づくりを進めています

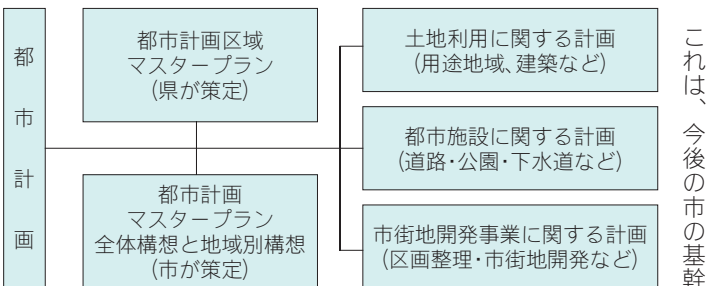
もし、静かな住宅地に大きなビルや工場などが建ってしまったら、日照や騒音

土地利用のルールや道路・公園整備など

「都市計画」とは、快適で住みよいまちづくりを進めるため、土地利用のし方や建物の建て方などのルール、道路や公園などの整備について、あらかじめ計画を定めておくものです。これは中心市街地の活性化や将来の道路づくりのためにも、ぜひ必要で、市では、将来のまちの姿を想像し、都市計画の方向性を示した『都市計画マスタープラン』の策定を進めています。



将来のまちづくりのために



目抜き通りを華やかに江戸天下祭 前原地区・山王講の山車が順行



東京・千代田区で江戸開府400年を記念して11月22日から24日までの3日間行われた「江戸天下祭」に、ふるさと鴨川からも、前原・山王講の江戸型山車が参加しました。24日には約30万人が見物する中、日比谷公園周辺の目抜き通りをハッピー姿の氏子の皆さんに引かれ、華やかに順行しました。

となる道路づくりや中心市街地の活性化促進、快適な環境の保全などに、ぜひ、必要な施策です。都市計画では、共通のルールとして、住宅地や商業地、工業地など、その地域の土地の使い方に応じて「用途地域」を定め、建てることのできる建物の高さや大きさ、種類を決めます。また、道路や公園、下水



太海多目的公益用地に城西国際大学施設ができます

太海多目的公益用地では早稲田大学セミナーハウスに続き、城西国際大学の教育研究施設の建設工事が、急ピッチで行われています。施設は教育棟や管理棟、宿泊棟などからなる建物とグラウンドで、今年5月に着工し、来年5月の完成をめざしています。

都市計画マスタープラン 来年3月までに策定 土地の使い方や建物の建て方のルール、都市施設の整備方針、自然環境の保全方針などを盛り込んで、市

策定にあたっては、昨年度から、公募が集まった市民をはじめ、各種団体の代表者などで構成される「まちづくり会議」を設け、意見や要望を取り入れる一方

現在、市では、土地の使い方や建物の建て方のルールづくり、都市施設の整備計画とともに、市内を三つの地域に分けた地域別構想を取りまとめているところで、来年一月までに原案を策定し、三月までには市都市計画審議会へ諮問、答申を受け決定します。

臨時市議会 期末手当など6千100万円を減額に 市長はじめ議員・職員など

今年二回目の臨時市議会が十一月二十五日(火)に開かれ、専決処分の承認一件、条例の一部改正三件、平成十五年度補正予算三件の七議案を可決しました。

■専決処分の承認
平成十五年度の一般会計補正予算に、衆議院議員選挙などの費用として、二千

道などを将来どのようにしていくのか、交通事情や人の動きの現状、将来を見通して整備していくべき都市施設を定めます。さらに、ふるさとの美しい海岸風景や田園風景などの環境を保全していくための計画も考えていきます。

理者、教育長、市議会議員の期末手当支給率を、それぞれ〇・二五か月分引き下げるものです。

■平成十五年補正予算
平成十五年補正予算はいずれも給与などの改定に伴うもので、一般会計と介護保険特別会計、学校給食センター特別会計の補正です。

市長をはじめ、議員や職員などの給与減額により、総額六千百万円の財政削減となります。

として保存しましょう